

平成30年度第1回河南町入札監視委員会 議事概要

開催日時	平成30年10月3日（水）13時30分から15時15分まで
開催場所	河南町役場庁舎2階庁議室
出席者	委員3名 町長、副町長、まち創造部長、総務部長、総務部施設整備担当課長、健康福祉部健康づくり推進課長、町立総合体育館館長、総務部総務課長、契約検査室長、契約検査室職員2名
議事概要	<p>平成30年度第1回河南町入札監視委員会の議事概要は、次のとおりです。 【対象期間：平成30年1月1日から7月31日まで】</p> <p>1. 指名停止措置の運用状況について 今回の対象期間内で9件の指名停止措置について事務局から報告がありました。 <主な質問及び意見> 特に意見はありませんでした。</p> <p>2. 談合情報等の処理状況について 対象期間内での談合情報はありませんでした。</p> <p>3. 入札・契約状況及び抽出事案について 今回該当期間内に、本町が入札または随意契約を締結した130万円を超える工事、50万円を超える委託及び80万円を超える物品購入の入札・契約状況の報告があり、対象契約案件146件の中から任意抽出された次の3件の概要、入札の経緯、落札者の決定等について、契約検査室及び担当部局より説明し審議が行われました。</p> <p>(1) 抽出事案</p> <p>① 河南町立小学校統合改修工事（契約金額：290,496,240円） ② 平成30年度河南町立総合体育館清掃業務（契約金額：2,261,520円） ③ 河南町コミュニティバス運行業務委託（契約金額：21,254,400円）</p> <p>(2) 主な質問及び意見</p> <p>① の抽出事案について 【抽出理由】 一般競争入札の案件中、最も契約金額が大きく、低入札調査価格での落札であったことから、工事内容及び低入札調査の経過説明を受けたいとの理由から抽出されました。</p>

〈主な質問及び意見〉

- ・ 価格と評価点のバランスだと思うのだが、結果的には価格で決まってしまうている。標準点に対して10：1の加算点となっているが、他の自治体もこのようなバランスなのか。

(回答) 簡易型で実施であればこのようなバランスが多いが、本町の加算点が10点のところ、20点、30点としている自治体もあります。

- ・ 加算点を20点としていたと仮定すると、結果は変わっていたのか。

(回答) 評価基準及び配点を事前に公表していることから、自社の加算点を計算することができるため、他社の加算点が満点で価格が低入札価格調査基準価格(以下「調査基準価格」)以上であると仮定して、それを逆転できる価格を算出することは可能であり、結果的に価格で決まってしまうことも考えられます。

- ・ 加算点が大きくなると、逆転するために更に低い金額での入札が必要となるということか。

(回答) そのとおりです。

- ・ 失格基準価格と調査基準価格に約6千万円の差があることから、加算点が満点であっても容易に逆転できることになる。

他の自治体の例を見ても低入札価格調査により履行不可能と判断されたものは極めて少ないはずであり、ぎりぎりでも施工可能であるということであるが、本来の総合評価方式である施工能力が高い業者への発注という点からは外れているのではないか。

(回答) もっと技術力の評価に重点を置いた方式であればそういうことも可能であるが、高度な技術力を判断できる体制を町では整えることが難しくあくまでも簡易型で実施しており、多くの市町村でも簡易型を採用しているところではある。

- ・ 失格基準価格はどのようにして決定しているのか。

(回答) 国の調査基準価格設定基準の下限としている。

- ・ 調査基準価格と失格基準価格の差をもっと狭くできないのか。

(回答) 国のモデルを参考に基準設定していますが、今後研究・検討します。

- ・ 低入札価格調査に対する業者のハードルが低くなってきており、調査基準価格未満での入札に抵抗がなくなっているのではないか。

(回答) 町での調査にも限界があるので、現在の体制で調査に係る提出資料の追加等が可能であるかなどを研究・検討します。

(意見) 今後も同じような結果が続くことも予想されるため、点数の配分、各価格の設定基準等を検討してもらいたい。

② の抽出事案について

【抽出理由】

指名競争入札の案件中、施設の清掃業務の落札率が高いことから、最も高い案件の積算方法と仕様内容について説明を受けたいとの理由で抽出されました。

〈主な質問及び意見〉

- ・ 9 者が予定価格での入札となっているがなぜか。

(回答) 予定価格を事前公表している中で、履行可能な価格が予定価格であるという意思表示と考えております。

- ・ 昨年度より契約金額が下がっているがその理由は？

(回答) 昨年度から業務時間が 1 日あたり 1 時間減っており、予定価格も低くなっているためです。

- ・ 予定価格の設定にあたり、1 平米あたりの金額など何か基準があるのか。

(回答) 建設物価版等には参考単価などがあるが、比較的大きな施設が想定されているもので 1,000 平米あたりの単価を割り戻して使用している。よって、本案件のような施設で当てはめると厳しいというのが現状ですので、併せて最低賃金やその増額を見越して設定しております。

- ・ 町立中央公民館・図書館清掃業務委託が同じ清掃業務で、概ね人件費で構成されているであろう案件であるが、落札率が 88.4% と低いのはなぜか。

(回答) 昨年度まで別々であった中央公民館と図書館が一つとなり、業務としての規模が大きくなったことから、利益の割合を圧縮しても利益が出るためだと考えられます。

③ の抽出事案について

【抽出理由】

随意契約の案件中、最も契約金額が大きく、地域公共交通としての役割、運行方法、運営状況、随意契約にされた理由などについて説明を受けたいとの理由で抽出されました。

〈主な質問及び意見〉

- ・ このバスの他にやまなみタクシーというものが運行しているようですが、これも随意契約によるものか。また、タクシーとしたのは、利用者が少ないからか。

(回答) 第一交通との随意契約によるものです。

タクシーとしたのは、平石方面や青崩方面などは山手で道も細く、また人口も少ないためです。

- ・タクシーは、同じエムケイ観光バスではなくて、第一交通とのことであるがその理由は

(回答) そもそもバスとタクシーでは運行形態が違い、バスは町が許可を得て走らせるものの運行管理をエムケイ観光バスに委託しているもので、タクシーは第一交通が許可を得て運行するものにかかった経費を支払うものとなっています。

- ・契約金額と料金収入の関係はどうなっているか。

(回答) 町がバス会社に委託料を支払い、運賃は町の収入となっています。

- ・本事業の開始初年度から随意契約としていたのか。

(回答) そもそも本町を運行エリアとする事業者数社と実施が可能であるかの交渉をしたところ、他の事業者が実施不可能との回答であったため、随意契約として執行しております。

- ・今後実施していく中で、運行ルートなどの見直しも考えているのか。

(回答) これまでもアンケートの実施により、より使い勝手の良いものにと考
おりましたが、今後も運行ルートはもとより、料金体系や北部と南部との
乗継ぎシステムの是非等についてもアンケート等で意見をいただいて改善
していきたいと考えています。

- ・現在は実証実験としての運行であるが、今後は運行終了ということもあるのか。

(回答) 年間のべ数千人の利用者があり、また、アンケートにおいても運転免
許返納予定であるので運行を継続してほしいなどの声が多くあるため、本
格実施を見据えての運行を行っています。

- ・今後も随意契約により実施するのか。

(回答) 本格実施となると、長期契約も可能となるので、その場合は他事業者
の参入も見込めるのではないかと考えています。

(3) 審議の結果

抽出審議した3件の案件のうち、「河南町コミュニティバス運行業務委託」の
随意契約については、現在は実証実験中ということで妥当であると考えますが、
今後本格実施するにあたり、競争入札も含めて検討する必要がある。

他の2件の案件については、入札及び契約状況は概ね適正な手続で行われたと認められる。

5. その他

- (1) 平成30年度第2回河南町入札監視委員会の日程について
次回 平成30年度第2回河南町入札監視委員会開催日時
・平成31年2月21日(木) 午後1時30分から

6. 問い合わせ先

河南町総務部契約検査室 電話番号 0721-93-2500 (内線 360・361)